

# ヤングケアラーの支援に向けて

ヤングケアラーは、こんな気持ちから困っていても誰にも相談できずにいるかもしれません。

誰に何を相談したらいいのかわからない…

お世話をしていることを隠したい…

子どもの身近にいる方の『ヤングケアラーかもしれない』という「気づき」が、支援の「きっかけ」になります。

子どもから見て「信頼のできる大人」と対話することで、本人や家族の意向に沿った支援につながっていく可能性が高まります。

## 気づいたら、こども・家庭サポートセンターに連絡してください。

家族が抱える複雑な課題に対応し、ヤングケアラーとその家族を支援していくには、関係機関が連携してかかわっていく必要があります。困っていそうな子どもに気づいたら、まずは「こども・家庭サポートセンター」に連絡・相談してください。

◆ こども・家庭サポートセンターを中心に関係する機関で連携して支援していきます。

